

令和7年度第2回運営推進会議報告書

法人名	大山町社会福祉協議会	事業所名	地域密着型通所介護ほほえみ
開催日時	令和7年10月18日(水)14:00~15:00		
参加者	利用者(0名)利用者家族(1名)地域住民代表(2名)大山町職員(1名) 事務局(3名)		

1.活動状況報告

地域密着型通所介護と総合事業、元気アップ(R7.4月～R7.10月まで)の登録者数及び、延人数についての報告を行う。昨年度と同時期に比べ利用者数の増加傾向が見られた。利用者様からほほえみを紹介してくださることもあり、利用に繋がることもあった。新規利用については月に1件から3件の相談があり、利用に繋がったこともあった。元気アップ教室については、問い合わせをいただくことはあったが、現在は利用者はなし。

2.活動状況に関する評価

【事故・ひやりはっと報告について】

期間中の状況報告書にてひやりはっと・事故内容を報告及び今後の対応策について説明を行う。(ひやりはっと報告)については、月毎に事故内容の種類、件数、発生時間帯をグラフにしたものを見ていただきながら説明させていただく。転落、転倒に至りかけた事例や、歩行中の躊躇などの事例があり、職員が見守りを行っていたため事故防止に繋がった。

(車両事故)については送迎中に対向車との接触を避ける為、脱輪したというケースがあった。

今後もこのような事故を未然に防げるよう、日頃からの交通安全に対する認識や危険認知、各報告書を活用し、事故回避に繋がるよう、今後も職員全体で周知徹底することが大切であると考えている。

【デイサービスの行事や地域ボランティア様との交流について】

本年度より新たにほほえみのキャラクターの作成し、それに伴い新しいパンフレットやお試しチラシを作成した為、紹介をさせて頂く。

デイサービス利用時の様子、活動報告を行う。

毎月、地域ボランティア様の朗読や図書館交流、2ヶ月に1回隣接の保育園の園児さんとの交流会を行っており、利用者様も毎回楽しみにしてくださっている。絵画教室では、月毎にテーマがあり、完成した作品を展示する事で達成感にも繋がっている。デイサービスに来所し、様々な方と交流が出来ることは幸せであるというお言葉もいただいている。今後も地域の方との繋がりを大切にしていきたい。

3.事業所への要望、助言等(※会議で委員が発言した主な要望、助言等を記載)

- ① ひやりはっと報告の件数が多いようだがどのように活かせているか。
- ② 総合事業対象者と事業対象者の違いとデイサービスを利用することは出来るか。
- ③ 地域密着型通所介護の実施の主体、報酬や利用料金はどのようにになっているか。

4. 要望、助言に対する考え方（※上記3に対する事業所の考え方を番号順に記載）

①	ひやりはっと報告が多いということは、小さな気づきも報告するようにしております、事故にはならなかったが危険であるということに気づけた状態であるという意味もあり、何も起きなかつたら報告しないということではなく、何も起きなかつた理由をみんなで共有することで動線の見直しや声掛けの工夫、配置の調整等に活かし、その結果、大きな事故を防ぐことに繋がっていると考えています。
②	事業対象者とは（要支援 1・2）の介護認定を受けた方が日常生活で一定の支援が必要な方であり、総合事業対象者は介護認定まではいかないが、現在の身体機能を維持、悪化防止に繋がる支援が必要となられる方となっています。短時間での利用希望があれば、元気アップ教室での利用も可能です。住み慣れた地域で元気に暮らして頂ける為の制度であり、デイサービスを利用することは可能ですが、まず何か困られたことがあれば長寿支援課へご相談していただくことがよいと思います。
③	大山町が主体となっており、町の決めた基準に沿って事業所が現場を担っているサービスです。町と事業所が地域で安心して暮らし続けられる仕組みを支えています。利用料金等については問い合わせをいただければお答えさせていただきます。